

机上棚 2 段

この度は、当社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本説明書を組み立ての前に必ずお読みの上、正しくお取り扱い下さいますようお願いいたします。
また、本書を大切に保管して下さい。

組み立て時のご注意！



注意

- 組み立てる際は、指先などを傷付けないよう、手袋等を着用して下さい。
 - 開封する際は、カッターナイフなどで本体を傷付けないよう十分ご注意下さい。
 - 工具類の取り扱いには、十分ご注意下さい。
 - 組み立ての際はお子さまに注意し、なるべく広い場所で行って下さい。
 - 組立説明書に従って組み立てて下さい。組み立て手順を間違えると、組み立たない場合があります。
 - 組み立て手順に従い、ネジ等で確実に止めて下さい。不十分ですと、製品が破損したりケガをする恐れがあります。
- ※ 部材や床などにキズが付かないよう、ダンボールや毛布等を敷いて組み立てて下さい。

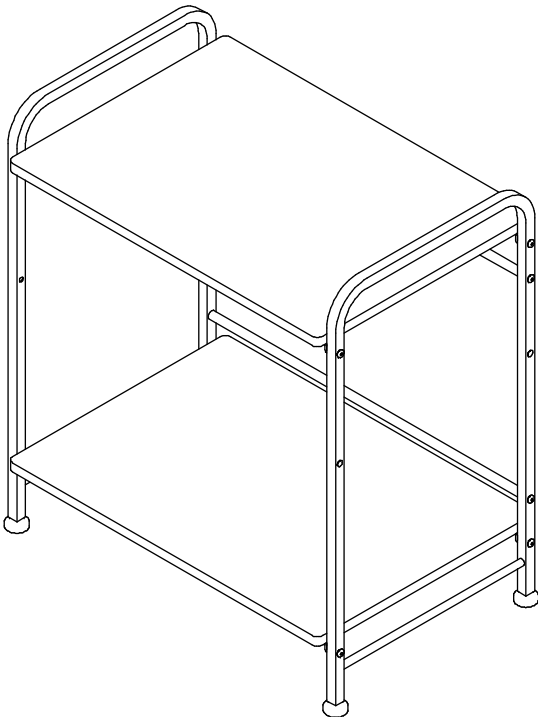
使用時のご注意！



注意

- 本製品に乗ったり、重いものを引っ掛けたり、耐荷重以上のものを載せたりしないで下さい。転倒したり、壊れてケガをする恐れがあります。
 - 高温のものを直接当てたりしないで下さい。塗装面が変色したり、剥がれることがあります。
 - 直射日光や冷暖房器具の風を直接当てないで下さい。歪んだり変色したりすることがあります。
 - 本製品は防水仕様ではございません。水に濡れた場合は放置せず、拭き取って下さい。また、高温多湿な場所でのご使用は、劣化が進む原因となります。
 - 分解や改造をしないで下さい。破損したりケガをする恐れがあります。
 - 異常を見つけたらそのまま使用せず、製造元へご連絡下さい。
- ※ 改善のため、予告無く仕様を変更することがあります。以下、キャスターをご使用時の注意
- ★ 運搬目的では使用しないで下さい。転倒したり、キャスターが破損して、倒れてケガをする恐れがあります。
 - ★ 段差等は、本製品を引っ張り上げるようにして越えて下さい。無理に段差等を越えますと、転倒したり、キャスターが破損して、倒れてケガをする恐れがあります。
 - ★ カーペット上で移動させる場合は、必ずゆっくりと行って下さい。転倒したり、キャスターが破損して、倒れてケガをする恐れがあります。
 - ★ キャスターのネジは、定期的に締め直して下さい。緩んだままで使用しますと、転倒したり、キャスターが破損して、倒れてケガをする恐れがあります。
 - ★ キャスターのストッパーをロックした状態で、無理に移動させないで下さい。破損の原因になります。

組み立てる前に、各部品を確認して下さい。

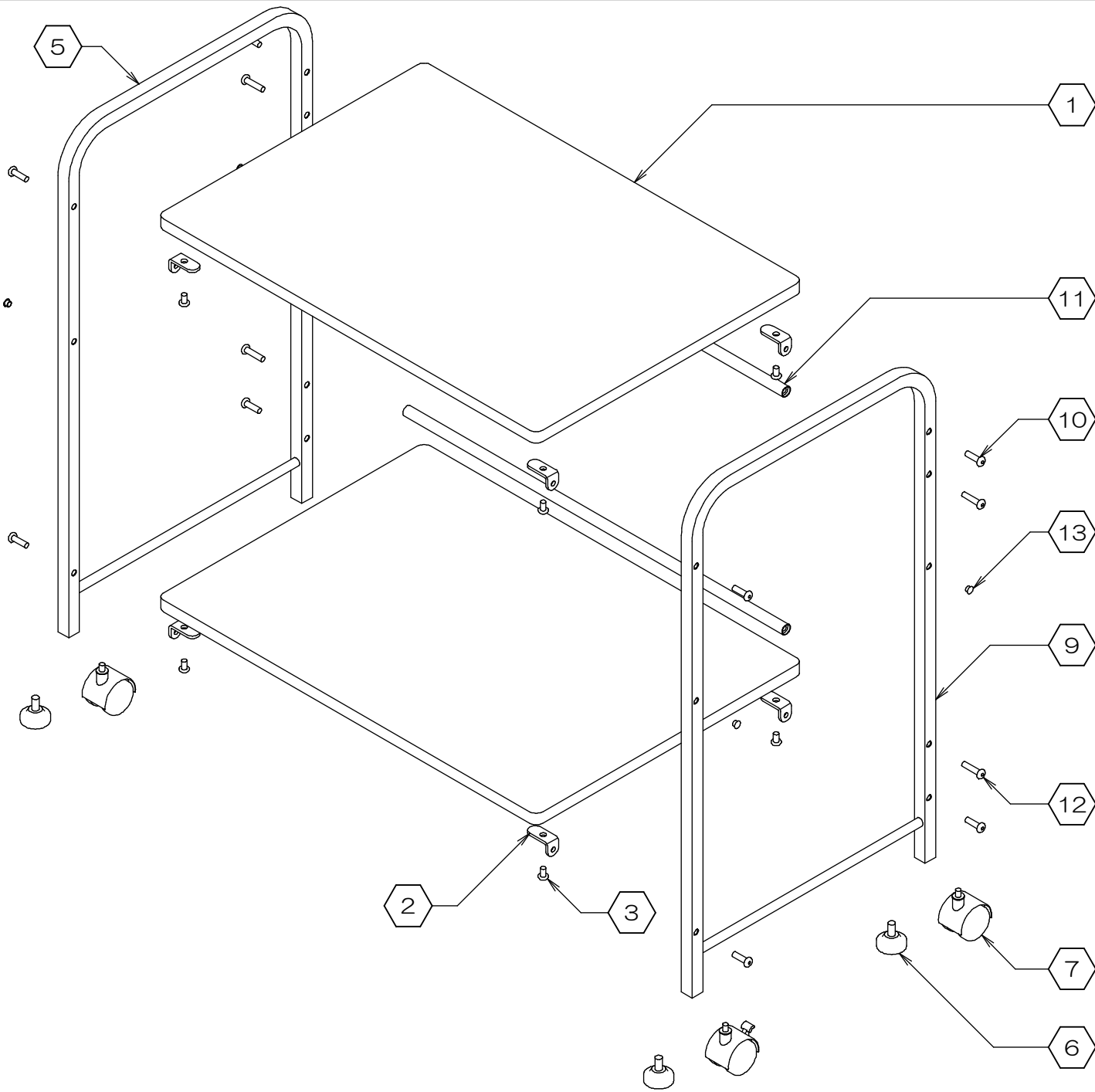


製品仕様 外形寸法：キャスター使用時 =幅63cm×奥行41cm×高71cm 重量=8kg
アジャスター使用時=幅62cm×奥行40cm×高67cm 重量=7.8kg
耐 荷 重：等分布10kg/段
主要材料：スチール、パーティクルボード
表面処理：スチール=パウダー塗装、パーティクルボード=化粧紙貼り

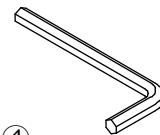
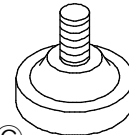
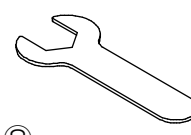
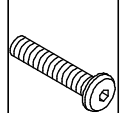
Made in Taiwan
J1620-R6



組み立てる前に、各部品を確認して下さい。



項目	部品名	数量	項目	部品名	数量
1	棚板	2	8	キャスター(ストッパー有)	2
2	L字金具	8	8	スパナ	1
3	ネジ/小(M6x15)	8	9	右フレーム	1
4	六角レンチ	1	10	ネジ/中(M6x20)	8
5	左フレーム	1	11	ジョイントパイプ	2
6	アジャスター	4	12	ネジ/大(M6x30)	4
7	キャスター(ストッパー無)	2	13	目隠しキャップ	4

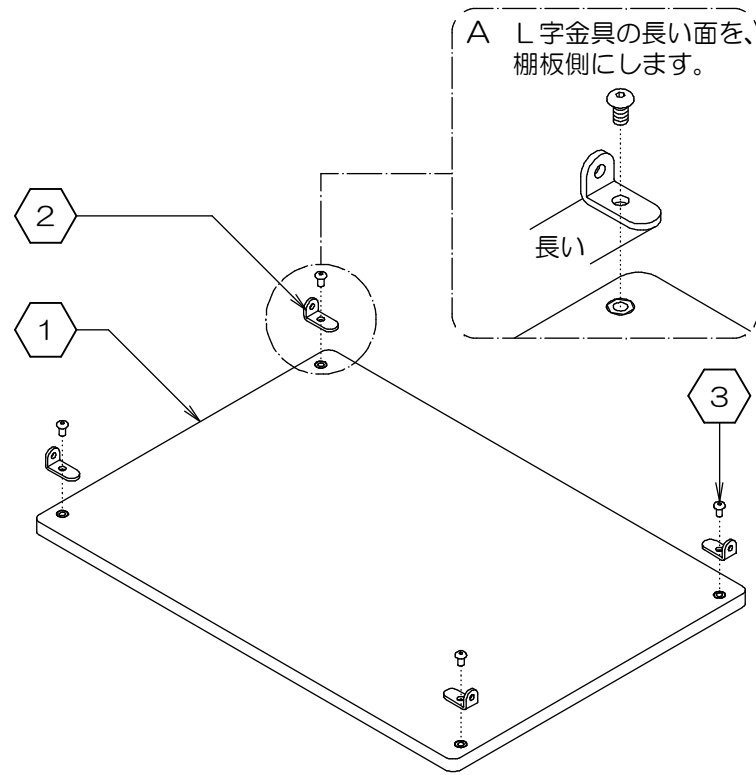
使用部材の形状						
						
③	④	⑥	⑧	⑩	⑫	⑬

お問い合わせ先
販売元：株式会社 林製作所 072-960-0500
〒578-0925 東大阪市稲葉1-4-50
ホームページURL：http://www.hayashi-yumeita.com/

YSM-001-2

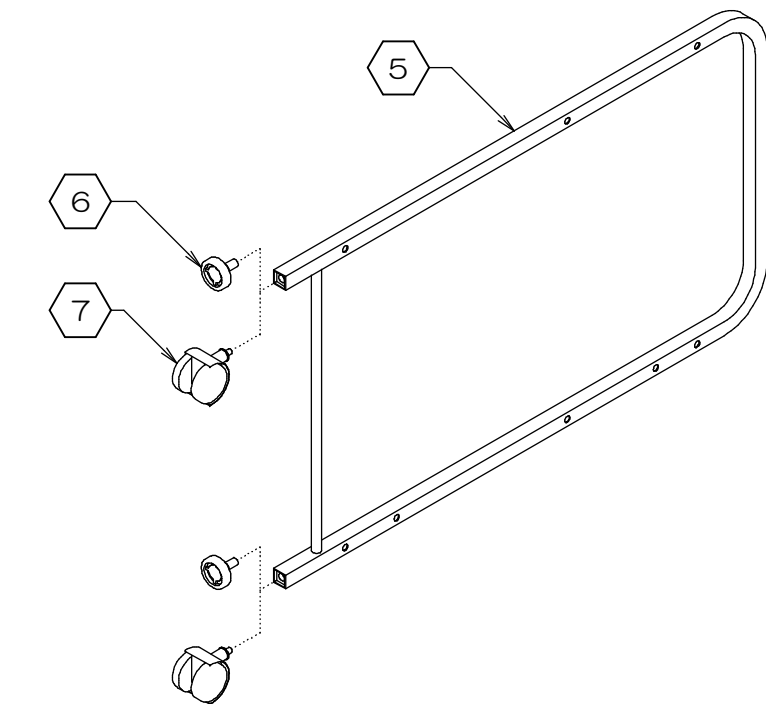
1. 棚板の仮組み

- ①棚板を裏返しにして、下図Aを参考に、②L字金具4個を③ネジ/小で**仮止め**します。
(付属の④六角レンチを使用します)
- 同様に、もう一枚の棚板にも、L字金具を取り付けます。



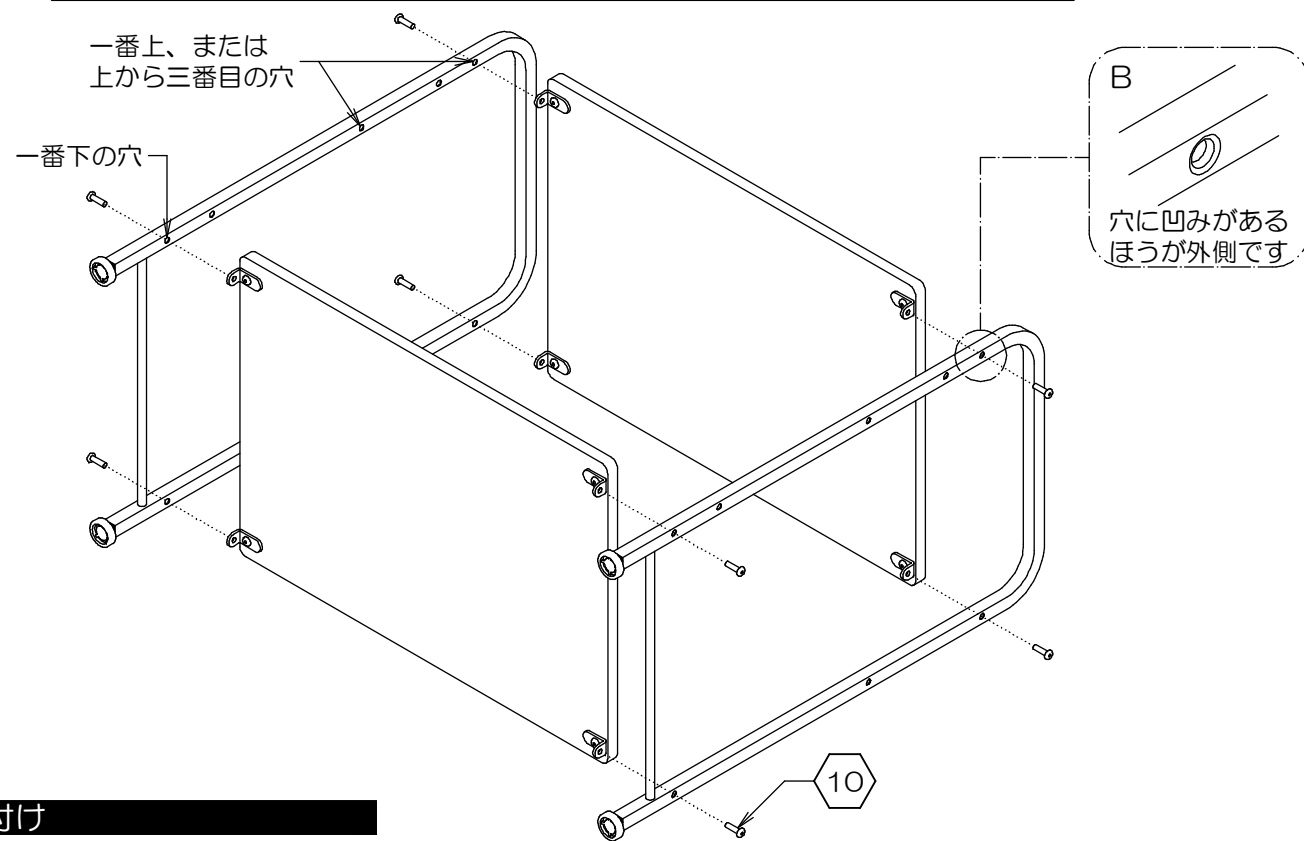
2. アジャスター、またはキャスターの取り付け

- ⑤左フレームに、⑥アジャスターまたは⑦キャスターを取り付けます。
- アジャスターをご使用の場合は、手締めで取り付けます。
キャスターをご使用の場合は、付属の⑧スパナを使ってしっかりと固定して下さい。
- 同様に、⑨右フレームにも取り付けます。



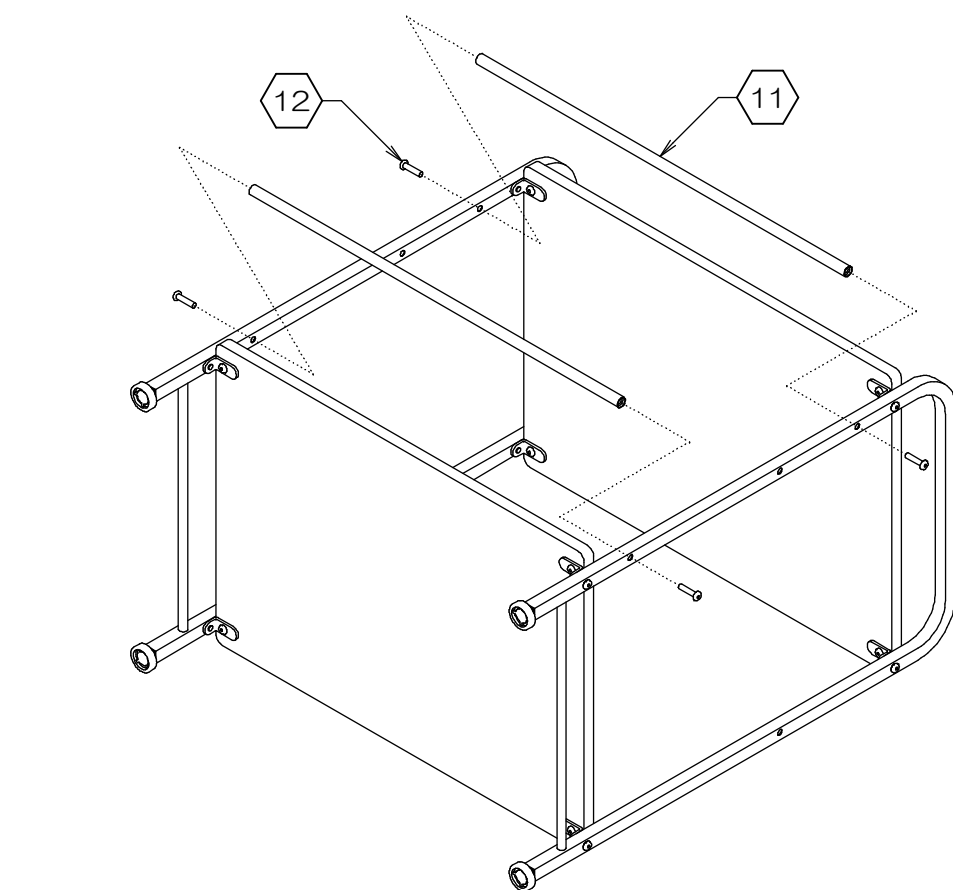
3. 棚板の取り付け

- ※ 左右のフレームは、穴に凹みがあるほうが外側になります。(図B参照)
- ※ 下図のように、フレームの穴が多いほうを上にしなが、倒して組み立てると、作業が楽になります。
- ※ 本説明書は、アジャスターを取り付けた場合のイラストです。
- ※ 上段の棚板は、お好みに合わせて2段階に調節できます。
- 作業1で仮組みした棚板2枚を、⑩ネジ/中を使って、フレーム2個と**仮組み**します。
上段は、フレームの一番上の穴、または上から三番目の穴を使用します。
下段は、フレームの一番下の穴を使用します。
- 注) ネジは必ず仮留めにして下さい。強く締めると、次の作業が出来なくなります。



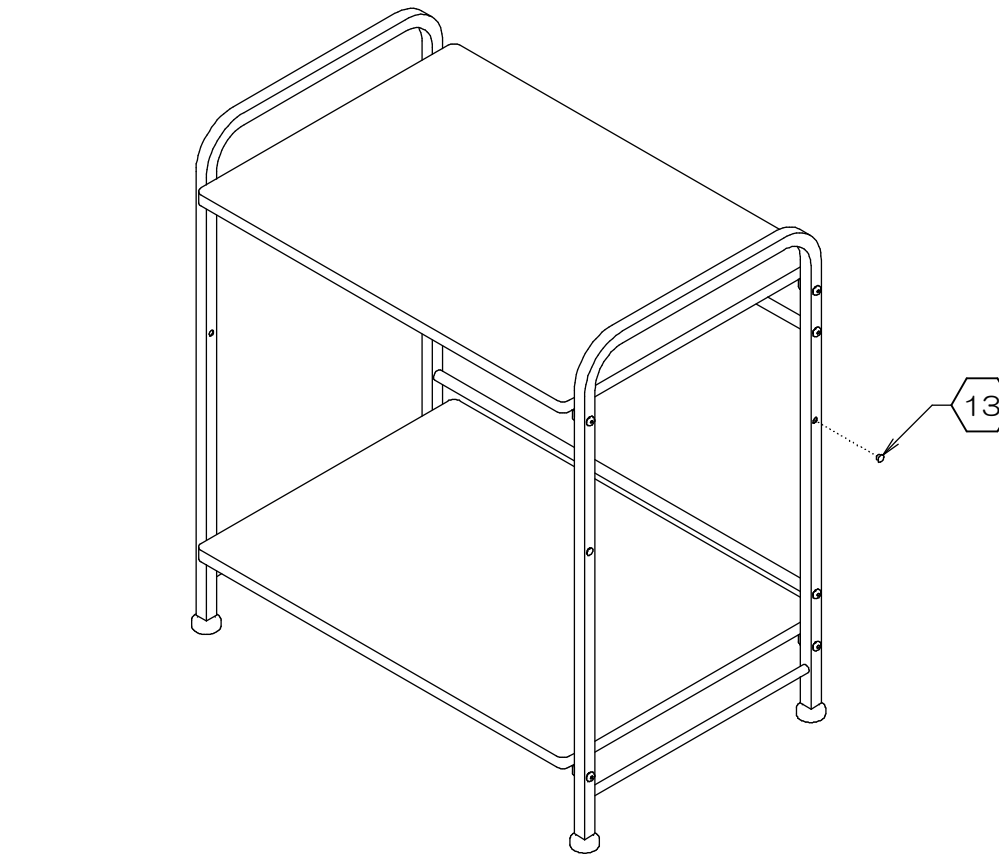
4. ジョイントパイプの取り付け

- 前項で仮組みした本体に、下図を参考に、⑪ジョイントパイプ2本を**仮留め**します。
(⑫ネジ/大と付属の六角レンチを使用します)
- ※ フレームを傷付けないよう、ご注意ください。また、ジョイントパイプが取り付けられない場合は、前項で取り付けしたネジ/中を少し緩めて下さい。



5. 増し締め、および目隠しキャップの取り付け

- 本体を起こし、仮留めしていたすべてのネジを、バランスを整えながらしっかりと増し締めして下さい。
- フレームの使用しない外側の穴に、⑬目隠しキャップをはめ込んで下さい。
- ※ ⑬目隠しキャップがはめ込みにくい場合は、⑧スパナの柄の部分など硬いものを用いて、押し込むようにして取り付けして下さい。



6. 完成

- 最後に、ネジ等が緩んでいないか確認して下さい。
緩んでいる場合は、締め直して下さい。
- ※ アジャスターをご使用の際に、ガタつきが生じる場合は、アジャスターを調整して下さい。

